

ガンマ線照射装置管理者
動物実験委員会
RI 管理室

動物実験の準備、実施、終了について

実験準備前に全ての承認がされていることが前提です。

【動物実験準備】

- 1 利用者は動物実験準備を行う。
初回や設定変更時など必要に応じてコバルト 60 ガンマ線照射装置管理者
(以下ガンマ棟管理者)が立ち会う
 - 1.1 迷路にネズミ返しを設置
 - 1.2 ケーブル穴を塞ぐ(布を詰める)
 - 1.3 照射台周辺を網で防護(網で囲って、養生テープで固定)
 - 1.4 捕獲用網を確認
- 2 ガンマ棟管理者が現場確認を行う。

【動物実験実施】

- 1 利用者は京都大学複合原子力科学研究所・動物実験実施マニュアルを遵守して動物実験を実施する。
 - 1.1 動物飼養保管施設、あるいは、粒子線腫瘍学動物実験室などにおいて動物の逸走防止を施す
 - 1.2 逸走防止を施した動物を蓋に留め具のついた輸送容器内にいれて照射室内に搬入する
 - 1.3 照射室内で逸走防止を施したまま動物を設置
 - 1.4 照射
 - 1.5 照射後、逸走防止を施したまま輸送容器内に動物を戻す
 - 1.6 照射する匹数が多い場合は 1.2-1.5 を繰り返す
- 2 問題や困ったことが生じたら直ぐに、ガンマ棟管理者へ連絡する(動物の逸走時は除きます)。

【動物実験終了】

- 1 動物実験に使用した設備を片付ける。
 - 1.1 照射台周辺の網を外す
 - 1.2 ケーブル穴を塞いでいた布をとる
 - 1.3 迷路のネズミ返しを外す
 - 1.4 原状復帰を確認
 - 1.5 動物の頭数を確認
 - 1.6 捕獲用網を確認
- 2 ガンマ棟管理者の現場確認を行う(当面は終了時に行う)。

【動物の逸走時について】

動物実験委員会の定める手順に加えて、速やかに RI 管理室、ガンマ棟管理者への連絡を行うこと。

順番は RI セキュリティと同様に、沖+牧→茶竹、齊藤(毅)、高橋(和)、飯沼

(電話番号は照射室扉に書いてある)

沖	070-5433-5248 (2481)
牧	080-9598-4852 (2413)
茶竹	090-5796-1162 (2815, 2435)
齊藤	090-2019-1309 (2814, 2378)
高橋	080-1823-0823 (2477)
飯沼	090-3670-3839 (2181)

以上